

令和6年度 学校評価書（自己評価・学校関係者評価）

スクールミッション	西村山地域で唯一の工業教育を担う高等学校として、ものづくり教育や資格取得、地元企業と連携したキャリア教育を推進することにより、社会を生きぬく基盤となる力を育むとともに、郷土を愛し地域産業界や社会を担うことのできる、健康で実践力のある人材を育成します。
-----------	---

グラデュエーション・ポリシー （育成を目指す資質・能力に関する方針）	1 何事にも前向きに挑戦する姿勢と、状況を正しく理解・判断し行動できる力を育成します。 2 仕事を知り、学び、探究し、自らキャリアプランを作り上げる力を育成します。 3 人間の多様性を理解した上で、自分の考えを適切に伝える対話する力を育成します。 4 地域課題の発見や解決に向け主体的に考え、地域のために行動できる力を育成します。 5 心身を健康に保ち、自ら課題の発見と解決に努め、やり遂げる力を育成します。
カリキュラム・ポリシー （教育課程の編成及び実施に関する方針）	1 ものづくりのための知識・技術が身に付き、技能習得の意義や利点がわかる授業を実践します。 2 地元企業と連携し、地域を題材にした探究学習やインターンシップを展開します。 3 協働学習を進める中で他者を理解するとともに自分の考えを発表する機会を作り、対話する力を向上させる授業を実践します。 4 地域の理解を深めるため、公開講座の実施やみこし祭りへの参加など地域における活躍の場を作ります。 5 やり遂げる力の育成と健康の増進のため、特別活動や保健に関する指導を活性化します。
アドミッションポリシー （入学者の受入れに関する方針）	1 ものづくりに興味・関心があり、専門的な知識や技術を身に付けたい生徒を募集します。 2 工業分野で活躍できるエンジニアへとキャリアアップしたい生徒を募集します。 3 対話の重要性を理解し、状況に応じた挨拶や対話ができるようになりたい生徒を募集します。 4 地域の祭りやボランティア活動に参加するなど、地域とのつながりを大切にしたい生徒を募集します。 5 心身を健康に保ち、熱心かつ継続的に活動に取り組みきたい生徒を募集します。

学 校 経 営 の 方 針
県教育委員会が掲げる、『「いのち」をつなぐ人、学びを生かす人、地域をつくる人』の育成とスクール・ミッションの実現を通して、特色ある魅力的な学校づくりを推進する。
1 多様な人々との交流や対話を通して、社会に貢献できる資質と思いやりの精神、しなやかな感性を持つ生徒の育成を図る。 2 授業研究やICTの活用を一層推進し、生徒一人一人にとって「わかる授業」を展開する。また、ものづくりや資格取得、各種コンテストなどに積極的に取り組みせ、生徒の学習自立的な学習態度の育成を図る。 3 開かれた学校づくりを目指し、地域社会・PTA・同窓会・後援会等との連携を密にし、地域に根ざした教育活動の一層の推進を図る。 4 全職員が教育公務員としての使命を自覚し、協働して組織的な教育活動を推進することにより、グラデュエーション・ポリシー、カリキュラム・ポリシーの更なる充実を図る。

学 校 経 営 の 重 点	1 明瞭で積極的な学校運営 2 学習指導の充実 3 生徒指導の充実 4 進路指導の充実 5 地域と連携した工業教育の充実と学校の特色化、魅力化 6 危機管理の徹底 7 働き方改革への取り組み
---------------	---

達 成 度	A 達成 B 概ね達成 C やや不十分 D 不十分
-------	------------------------------------

自 己 評 価				
番号	評価項目	具体的方策（令和6年度）	主な数値目標	達成度
1	学校運営	(1)「スクール・ミッション・スクールポリシー」の実現に向けて、全職員・全生徒の共通理解の下、協働実践による明るく生き生きとした教育活動の実現を目指す。 (2)開かれた学校づくりを推進し、学校・家庭・地域の連携を深める。 (3)教職員一人ひとりが自己研鑽に励み、教員力の向上に努める。	・月1回はHP更新し、本校の情報を広く発信する。 ・PTA関連の各種会議では、出席率60％以上を目指す。 ・避難訓練を年2回実施し、危機意識を高める。 ・教員の50％が校外の研修会に参加し、自己研鑽に励み、教員力向上に努める。	B
2	学習指導	(1)効果的にICTを活用し生徒を惹きつける「わかる授業」を展開し、生徒に「授業が第一である」(授業中心主義)ことを理解させる。 (2)授業時数を確保し、知識の定着を図る。また、学習の習慣づけにより基礎学力の向上図り、探究的な学習の機会を創出し主体的に学習する習慣を醸成する。 (3)生徒による「到達度自己評価と授業評価」を実施し、その結果を分析し授業改善に役立てる。	・年間出席率99％以上 ・生徒の授業満足度3.1以上 ・入学定員充足率100％	B
3	生徒指導	(1)生徒一人ひとりの規範意識と社会性を高め、家庭・地域及び関係機関との連携を密にして、いじめや問題行動、SNSでのトラブルの未然防止、早期発見、早期対応に努める。 (2)生徒会常任委員の自主活動及び各種委員会活動の充実、また地域社会参加活動の充実を図る。部活動の加入促進と活動の活性化を促す。 (3)交通安全指導を通して自らの安全と健康管理に努め命の大切さについて学ばせる。	・問題行動「0」・盗難「0」をめざす。 ・いじめ「0」を目指し、認知した場合は100％解決する。 ・各活動出席参加率100％を目指す。 ・部活動において、東北・全国大会出場を目指す。 ・交通重大事故発生件数「0」を目指す。 ・生徒一人ひとり年3回以上のボランティア活動参加を目指す。	B
4	進路指導	(1)進路希望を高く持って、それを達成できる人材を育成する。 (2)キャリア教育総合実践プログラムに基づき、計画的、組織的、継続的なキャリア教育の充実を図る。 (3)ICTを活用し、進路情報の発信や諸調査等を実施する。	・希望進路達成100％を目指す。 ・民間就職と進学的第一希望(1回目受験)での合格率は、それぞれ90％以上を目指す。	B
5	地域と連携した工業教育	(1)ものづくり教育の質を向上させると共に、新たな時代の要請に応え、地域の発展に貢献できる工業教育を推進する。 (2)課題研究や外部との共同研究の充実を図り、主体的な課題解決力と表現力、創造力を備えた人材を育成する。 (3)資格取得等に挑戦させ、知識、技術を習得することで自信を持ち、生涯にわたって学び続ける実践力と活用能力を備えた人材を育成する。	・各種資格取得に意欲的に挑戦し、技能検定では受検者の合格率70％以上を目指す。 ・ジュニアマイスター取得率30％以上を目指す。 ・各種コンテストやロボット等の競技大会に参加し、上位入賞を目指す。 ・課題研究では生徒の多様性に対応し、各科複数のテーマを設定し、興味関心を追究することを目指す。 ・課題研究発表会をとおして、各科の取り組みを保護者や企業、地域の方々に知ってもらう。 ・公開講座など地域に開かれた取り組みを各科1回以上実施し、専門分野の教育活動を広く地域にPRする。	B
6	危機管理	(1)防災意識の徹底、不審者への対応及び学校情報管理の理解と徹底を図る。 (2)生徒及び教職員の心身の健康管理に努める。 (3)公金等各種会計処理を適正に行う。	・避難訓練を年2回実施し、危機意識を高める。 ・救急対応に関する講習会として、2分野以上の企画をめざす。 ・心身の健康に関する講習会として、2分野以上の企画をめざす。 ・公金等執行状況報告に合わせ会計指導を実施する。	B
7	キャンパス制	(1)相互連携・交流の意義を踏まえて、キャンパス制の取組み内容について研究する。	・課題研究の成果を相互で発表することで、両校の理解を深める。 ・生徒会など生徒同士の交流を年2回以上行い、交流を深める。 ・協働的で深い学びをテーマに、研修会と互いの授業参観を行い、教員の授業力向上を図る。	B

学校関係者評価
意見・要望・評価等
学校関係者評価委員の方々から、 1 明瞭で積極的な学校運営 2 学習指導の充実 3 生徒指導の充実 4 進路指導の充実 5 地域産業界と連携した工業教育の推進 6 危機管理の徹底 の6項目についてアンケートにお答えいただき、すべての項目で「達成」又は「概ね達成」の高評価をいただいた。 ●学校全体の運営方針はわかりやすく、必要な情報も適切に保護者等に伝えられている。 ●授業内容はわかりやすく、実践的な学びができる環境にある。 ●基本的なルールやマナーについての指導はしっかりしている。 ●進路についての情報提供が充実している。 ●地元企業と連携した学びの機械があり、実践的な技術が身についている。 ●緊急時の対応などは避難訓練をとおして身につけている。 ●身だしなみ指導(頭髮)について、ジェンダーレスへの対応も必要な時代だと思う。

自己評価及び学校関係者評価の改善点、他	第2回学校関係者評価委員会は、評価委員の方々のご都合を鑑みて、書面会議とさせていただきます。アンケートに回答いただいたところ、今年度の学校運営に関して高評価をいただいた。2か年に亘り行った創立60周年記念事業も成功裡に終了することができた。今年度新校舎になり県内外から大きな注目を集め、更なる本校の飛躍を誓った。来年度より学校評議員並びに学校評価委員を産業連携協議会(フューチャープロジェクト)メンバーと兼ねることとした。
---------------------	---